



News Letter

No.27

一般社団法人日本老年歯科医学会 会報

平成 29 年 3 月 31 日 発行

【本号のトピックス】

第28回学術大会案内／委員会だより(財務, 広報)／支部だより／
第1回 高齢者医療 臨床研修会開催報告／学会だより

一般社団法人日本老年歯科医学会第 28 回学術大会のご案内 ～名古屋で多職種連携を肌で感じましょう！～

第 28 回学術大会準備委員長 上田貴之
(東京歯科大学老年歯科補綴学講座)

2017 年 6 月 14 日 (水) から 16 日 (金) まで名古屋国際会議場において、「治し支える歯科医療」というメインタイトルで、第 28 回日本老年歯科医学会学術大会を開催いたします。今回は、日本老年学会(総会)として 7 学会の同時開催となります。老年歯科医学のみならず、他職種の取り組みも知ることができますので、多くの学びが得られる場になると思います。多くの皆様と名古屋でお会いできることを楽しみにしております。



【サポート企画充実！】

1. 新入会員サポート！

新入会員の先生方のサポート企画として、教育講演と 3 つの入門セミナーを企画いたしました。これから老年歯科を学びたいという周囲の方と一緒にご参加ください！

2. 託児でもサポート！

託児室をご用意するなど、多くの会員にご参加いただけるようサポートを充実させ、大会校として万全の準備で皆様をお待ちしております！



会 期：2017 年 6 月 14 日 (水) ～ 16 日 (金)
14・15・16 日：学術大会・社員総会・
支部長会 (名古屋国際会議場)
15 日：会員懇親会 (ANA クラウンプラザ
ホテルグランコート名古屋)

会 場：名古屋国際会議場

※詳細は、学術大会ホームページ (<http://www2.convention.co.jp/gero28/>) をご覧ください。

【事前参加登録期間】

2017 年 4 月 28 日 (金) 正午まで

【会員懇親会のご案内】

本会は、2016 年 9 月に研究会設立から 30 年を迎えました。半還暦を迎えた本会の歩みを振り返り、還暦に向かって次の 30 年に踏み出した年を記念する懇親会として、広く会員の皆様にご参加いただけるような企画で開催いたします。多くの方にお越しいただけるように、楽しい参加型のイベントもご用意してお待ちしております。

懇親会テーマ：

研究会設立 30 年を振り返り、次の 30 年へ

日 時：2017 年 6 月 15 日 (木) 19:00 より

会 場：ANA クラウンプラザホテルグランコート名古屋

TEL：052-683-4111

委員会だより

財務委員会

委員長 那須郁夫

財務委員会は小さな委員会です。しかし、本学会の会務運営上、最も責任の重い委員会かもしれません。主な仕事は、事業計画に基づく予算案の提示、予算の適正な執行の監理と決算書の作成、財産の管理、財務に関する規定の見直しなどで、常任理事会と常に連絡を取りながら進めています。

本学会の目的で最も重要なものは、会員への「研究発表の場の提供」であると位置づけられます。すなわち『老年歯科医学』の発行と、総会の開催です。次に大切なのは、会員への「研修機会の提供」です。雑誌への総説掲載や、総会の特別講演やシンポジウム開催などにより実現します。予算配分(28年度)も、機関誌19.3%、総会44.5%と、この2件で事業活動支出の約3分の2になります。研修の機会を、支部単位でもかなり自由に企画し開催できる仕組みを用意している(3.9%)のも本学会の特徴です。特に、今年度から、研修委員会が中心となって実施する研修事業(3.9%)が開始されました。

他の事業では、認定医、専門医、摂食機能療法専門歯科医師、認定歯科衛生士認定事業があり、これらに8.8%の予算を割り当てています。現在は、インターネットが必要不可欠な時代です。広報事業は、学会ホームページの更新を常に怠ることなく、内外に情報を発信する事業とともに、本紙(ニュースレター)を年4回発行し、会員間の情報共有化のための紙ベースの情報提供を併せて実施しています。予算は2.9%です。

本学会は委員会活動もたいへん活発です。上記の継続事業以外に、分掌ごとに理事長から諮問、指示されたそのときどきに必要なさまざまなテーマについて、調査、審議、実施をしています。予算は運用の妙を図るため、全委員会分を合わせて計上してあり3.9%となっています。

以下省略しますが、財務委員会としては、一般社団法人としての法令順守とともに、効果的な予算執行を期して、会費を負担している会員の平等感、公平感を大切にしつつ仕事を進めてまいります。

広報委員会

委員長 河相安彦

多職種連携の広報委員会です。河相委員長、病院歯科:糸田副委員長、栄養士:奥村委員、歯科衛生士:小原委員、大学:北川委員と伊藤幹事という構成で2期目を迎えました。各委員は、広報委員会の役割を「PR: Public relation=社会との繋がりをもつこと」と認識し、日本老年歯科医学会の目的・使命と現在の取り組みなどの情報を、会員の皆様、非会員の歯科医師の皆様のみならず、広く医療職や国民へ、あらゆる媒体を通じて“いかにわかりやすくお伝えするか”を第一主義として委員会活動に取り組んでおります。

いままでの活動を振り返ると、1期目は大幅なホームページの更新に着手しました。なかでも、認定専門医制度の取得に関する情報などをよりわかりやすくアクセスできるよう、整理を行いました。2期目は、学会の認知度を、一般の方にもさらに高めるために、パンフレットの作成を行い、また直近では「口腔機能低下症」の啓発フライヤーを作成するなどの業務に取り組んでおります。通巻として27号になったニュースレターは、紙面を工夫し親しみやすいUP TO DATEの情報発信を継続してまいります。

広報活動のコアは情報です。アフター委員会は多職種間の情報(醸造?)交換を目的に、常に委員間で共有を図っております。広報活動に関するご提言などございましたら当委員会までお寄せいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。



支 | 部 | だ | よ | り |

岩手支部主催「摂食嚥下セミナー2016」
開催報告

岩手支部 松木康一

岩手支部では、2016年12月12日(月)、岩手医科大学にて「摂食嚥下セミナー2016」を開催しました。戸原 玄先生(東京医科歯科大学)を講師として招聘し、訪問歯科診療時における摂食嚥下リハビリテーションについてご講演をいただきました。基本的な訪問歯科診療の考え方や、実際に訪問診療を実施している動画を使ってわかりやすく説明していただきました。前回のアンケートの意見を反映し初歩的な内容も講義していただきました。歯科医師、医師、臨床研修歯科医師、歯科衛生士、管理栄養士、薬剤師など合計32名の参加者からおおむね好評をいただきました。一方で、もっと臨床的な摂食嚥下について学びたい、などの意見もあり、今後のセミナーのあり方についても検討していく予定です。



講師の戸原 玄先生

佐賀・長崎支部共催セミナー
「第9回九州・山口
口腔ケアシンポジウム」開催報告

大分支部 黒川英雄

佐賀・長崎支部の共催として、2016年12月18日(日)、メートプラザ佐賀にて「第9回九州・山口 口腔ケアシンポジウム」が開催されました(参加者は多職種239名)。メインテーマを「超高齢社会に向けての着実な口腔ケアを目指して～多職種から学ぶオーラルマネジメント～」とし、基調講演では「超高齢社会における医療・介護への多職種連携と歯科の役割」と題して、廣瀬知二先生(伊東歯科口腔病院訪問診療部長)より、特別講演では「周術期口腔管理など、医科歯科連携の推進について」と題して、上村俊介先生(総合病院山口赤十字病院歯科口腔外科部長)よりお話をいただきました。一方、シンポジウムでは「多職種から学ぶ口腔ケア」と題し、医療法人大和正信会ふじおか病院および介護老人保健施設しょうぶ苑から、口腔機能管理や摂食嚥下障害の対応について10名の多職種から現状と問題点、チームアプローチのあり方などを報告していただきました。超高齢者の誤嚥性肺炎の予防や食支援には多職種連携・協働が必要であること、さらに、病院、施設、在宅の医療介護の現場において、歯科医師、歯科衛生士の連携はもと

より、口腔管理のプロとしてのスキルアップへの社会的責任を示唆された有意義なシンポジウムとなりました。



シンポジウムの様子(佐賀・長崎支部)

兵庫・大阪支部共催セミナー
「訪問歯科ガイダンス(5)」開催報告

大阪支部 高橋一也

2016年12月18日(日)に兵庫県歯科医師会館にて、兵庫・大阪支部共催セミナーとして、兵庫県歯科医師会主催で訪問歯科ガイダンス(5)オーラルフレイルシンポジウムが開催されました(参加者191名)。講演(1)では「在宅訪問における歯科衛生士の役割」と題し、清水けふ子先生(台東区三ノ輪口腔ケアセンター)に、講演(2)では「フレイルとオーラルフレイルの関係について理解する～歯科医が行うフレイル対策とは～」と題し、渡邊 裕先生(東京都健康長寿医療センター研究所 社会科学系専門副部長)に、講演(3)では「歯科診療室からオーラルフレイルを考える」と題し、菊谷 武先生(日本歯科大学大学院生命歯学研究科臨床口腔機能学教授)にご講演いただきました。最後に「フレイルとオーラル・フレイル」について、足立了平先生(兵庫支部長・神戸常盤大学短期大学部教授)を座長として、演者の先生方、澤田 隆先生(兵庫県歯科医師会会長)、高橋一也(大阪支部・大阪歯科大学高齢者歯科学講座)の5名がパネリストとしてディスカッションを行いました。オーラルフレイル、さらにはフレイルを予防するうえで咀嚼の重要性が再認識されたセミナーでした。



左から澤田 隆先生、渡邊 裕先生、菊谷 武先生

岩手支部主催「摂食嚥下セミナー2017」 開催報告

岩手支部 原 淳

岩手支部では、2017年1月15日(日)、岩手医科大学にて「摂食嚥下セミナー2017」を開催しました。セミナーには、歯科医師、臨床研修歯科医師、歯科衛生士など、多職種の方々にご参加いただきました。玉田泰嗣先生(岩手医科大学)に、「高齢者の口腔機能管理～摂食嚥下のはじめの一步～」と題して、進みゆく高齢社会において平均寿命と健康寿命の差を短縮するうえで必要と考えられる“いつまでも安全に食べられる、飲み込める”といった摂食嚥下の観点から、基本的知識やリハビリテーションの内容をわかりやすくご講演いただきました。質疑応答では、参加者から日常の臨床で抱えている疑問についての活発な質問がみられ、歯科医療が地域医療において“食べて、飲み込むこと”に介入することの重要性を再確認していただける講演となりました。また、多くの参加者から、高齢者医療において在宅訪問診療や栄養管理など、さまざまなテーマについて学びたいとの意見が出ました。今後、セミナーを開催するにあたり検討していく予定です。



講師の玉田泰嗣先生

愛知支部共催セミナー 「東海オーラルマネジメント研究会」 開催報告

愛知支部 谷口裕重

第2回東海オーラルマネジメント研究会を2017年1月22日(日)10:00～15:45(午前の部:10:00～12:15, 午後の部:13:30～15:45)の日程で、ウインク愛知にて開催しました。今回のテーマは「地域包括ケアにおける摂食嚥下リハビリテーションの和」とし、午前、午後の2回、同様の内容で開催しました。

代表世話人である松尾浩一郎先生(藤田保健衛生大学医学部歯科)より開会の挨拶があった後に、加賀谷 斉先生(藤田保健衛生大学医学部リハビリテーション医学 I 講座)より「地域包括ケアと摂食嚥下リハビリテーション」とのタイトルでご講演いただきました。2題目は、寺本浩平先生(寺本内科歯科クリニック)より「今、開業歯科医に寄せ

られる食支援への期待～ライフステージに即した歯科医療のあり方とは?～」とのタイトルでご講演いただきました。最後に、世話人である大野友久先生(国立長寿医療センター歯科口腔先進医療開発センター)より閉会の挨拶がありました。

今回の参加者は、合計316名(午前:152名, 午後:114名, 世話人22名, スタッフ28名), 協賛企業13社のご協力によって盛況のうちに終会となりました。



左上:松尾浩一郎先生,
右上:加賀谷 斉先生,
左下:寺本浩平先生,
右下:大野友久先生

鹿児島支部共催セミナー 「第9回日本義歯ケア学会学術大会」 開催報告

福岡支部 梅本丈二

鹿児島支部共催セミナーとして、2017年2月11, 12日(土, 日)に鹿児島大学 学習交流プラザ 学習交流ホールにて「第9回日本義歯ケア学会学術大会」が開催されました(参加者89名)。コンパクトな会場ではありましたが、義歯安定剤や義歯清掃・管理に関するテーマなどを中心に18の一般演題があり、活発な議論が交わされました。また、第1日目には下堂 蘭 恵先生(鹿児島大学リハビリテーション医学)から「脳卒中のリハビリテーションと口腔との関係」、第2日目には黒野明日嗣先生(介護老人保健施設 愛と結の街)から「認知症という病気との向き合い方」と題した特別講演がありました。義歯や摂食嚥下リハビリテーションを通して、われわれ歯科医師や歯科衛生士が脳卒中や認知症の患者さんとかかわることの重要性を再認識しました。



セミナーの様子(鹿児島支部)

第5回 岡山支部セミナー開催報告

岡山支部 縄稚久美子, 水口真実

岡山支部セミナーは2017年2月12日(日)“地域・在宅高齢者の「食べる楽しみ」を支援する”というテーマで、岡山大学病院において開催されました(参加者151名)。

施設、在宅での栄養管理多職種連携の実務者を養成するセミナーとして、特別講演では、村田尚道先生(岡山大学病院スペシャルニーズ歯科センター)に、ミールラウンドで実際に歯科医師が連携していく嚥下リハビリテーションのノウハウについて、医師の中村幸伸先生には在宅の栄養療法について、管理栄養士の水島美保先生には在宅高齢者の栄養食事指導のポイントについて、それぞれの職種の立場からお話いただきました。

また、午後には、多職種ミールラウンドを想定したワークショップを実施しました(参加者51名)。コーディネーターの高橋賢晃先生(日本歯科大学講師)から症例を提示いただいた後、ファシリテーターとして講師の3名の先生に加え、言語聴覚士の齋藤真実子先生、戸原 雄先生(日本歯科大学助教)、前川享子先生(岡山大学病院助教)、管理栄養士の森光 大先生に参加していただき、高齢者の食を支える日常の思いやアイデアをディスカッションしていただき、大いに盛り上がりました。



ワークショップ参加者記念撮影(岡山支部)

第1回 千葉支部主催セミナー 「高齢者の低栄養とは」開催報告

千葉支部 杉山哲也

2017年2月19日(日)、標記セミナーが千葉県歯科医師会、同歯科衛生士会の後援を受け県歯科医師会館で開催されました。那須郁夫支部長による趣旨説明に続き、四国中央病院臨床研究センター長の中屋 豊先生による「健康長寿のためのよくわかる栄養学」と、聖徳大学人間栄養学部講師の廣木奈津先生による「低栄養を防ぐ献立と調理の工夫」の2講演が行われました。定員を超える130名以上の参加者を得て、活発な質疑応答も行われ、近年の栄養に関する関心の高さがうかがわれるセミナーになりました。



活発な質疑応答の様子(千葉支部)

滋賀支部共催セミナー 「第5回在宅歯科医療研修会」開催報告

滋賀支部 大西啓之

2017年3月12日(日)、近江八幡市立総合医療センターよしぶえホールにおいて、湖東歯科医師会主催による「第5回在宅歯科医療研修会」が開催されました(参加者64名)。「オーラルマネジメントの取り組み～つなごう！医科と歯科、つなげよう！病院から地域へ～」と題して独立行政法人国立病院機構福山医療センター 藤原千尋先生に、「他職種でつなぐ幸せの一口＝地域の食支援ステーションとして＝」と題して猪原歯科・リハビリテーション科 猪原 光先生に、それぞれの立場での地域連携の取り組みや考え方をご講演いただき、参加者全員が心揺さぶられる素晴らしい研修会となりました。



研修会での質疑応答の様子(滋賀支部)



第1回 日本老年歯科医学会 高齢者医療 臨床研修会が、2017年3月5日(日)、東京歯科大学水道橋校舎新館 血脇記念ホールにて開催されました。テーマを「高齢者の服用薬からわかること、モニタリングからわかること」と題して、九州歯科大学口腔保健・健康長寿推進センター 大渡凡人先生から「薬剤情報から組み立てる高齢歯科患者のリスクマネジメント」、東京歯科大学歯科麻酔学講座 松浦信幸先生から「今日から使える生体データ100%活用術」、日本歯科大学生命歯学部口腔外科学講座 松野智宣先生から「主治医に病状を照会するためのポイントABC」の3演題をそれぞれご講演いただきました。各講演は非常にわかりやすく、まさにいま臨床で必要とされている知識を押さえた内容であり、講演中は熱心にメモを取る参加者の姿が非常に多く見受けられました。講演終了後のパネルディスカッションでは会場から時間を超過するほど多くの質問が出され、演者と聴講者が一体となった活発な質疑応答となり、非常に有意義な研修会となりました。

参加者は171名で、北は北海道、南は鳥取県からと遠方からの参加もいただきました。参加者の職種は歯科医師、歯科衛生士が大半を占めるなか、医院開業の先生方に多く参加いただけたこと、そしてすべての参加者が熱意をもつ

て聴講されていたことは、超高齢社会のなかで歯科医療の最前線を担う先生方の意識水準の高さを表すものでした。

今回は第1回目として少し基礎的な内容からのスタートとなりましたが、今後は回を重ねることで概論から各論へと、より密度の高い内容へ進む予定です。第1回研修会を終え、本研修会がより多くの先生方への情報発信と向学の糧となる会になることを確信する結果となりました。



熱気あふれる会場の様子

学会だより

第4回歯科衛生士関連委員会主催セミナー 『歯科衛生研究の進め方 PARTⅢ』 (統計 実技演習編)

日時：2017年6月17日(土) 9:00～11:30(予定)
会場：TKP ガーデンシティ 名古屋新幹線口
定員：50名(予定)
4月18日(火) 10:00～参加受付スタート!
詳細は右記QRコードよりアクセスください。



掲載いたしました。該当プログラム(詳細は右記QRコードよりアクセスください)をご確認のうえ、ご参加ください。



北海道支部主催セミナー 『第16回北海道口腔ケアセミナー』のご案内

会期：2017年5月20日(土) 12:00～16:50
会場：北海道自治労会館(札幌市)
主催：日本老年歯科医学会北海道支部
北海道口腔ケア研究会
★詳細は学会ホームページをご覧ください

第28回学術大会時 認定資格更新単位・申請時指定研修等のご案内

学会ホームページに更新単位および指定研修のご案内を

編集後記

昨今、「健康寿命の延伸」とあちらこちらで聞かれるようになりました。「オーラルフレイル」など予防施策も地域で広がり始め、歯科診療所以外でも地域サロンや健康教室で口腔機能向上のための教室やセミナーが開かれています。そこで、歯科医や歯科衛生士の方々とともに管理栄養士もお話させていただく機会も増えています。「食べることは、生きること」を合言葉に、皆様の未永き健康を願い新年度も頑張っていきたいと思っております。

(奥村圭子)



発行人 櫻井 薫
編集 (一社)日本老年歯科医学会広報委員会
事務局 〒170-0003 東京都豊島区駒込1-43-9
駒込TSビル (一財)口腔保健協会内
電話 03-3947-8891 FAX 03-3947-8341